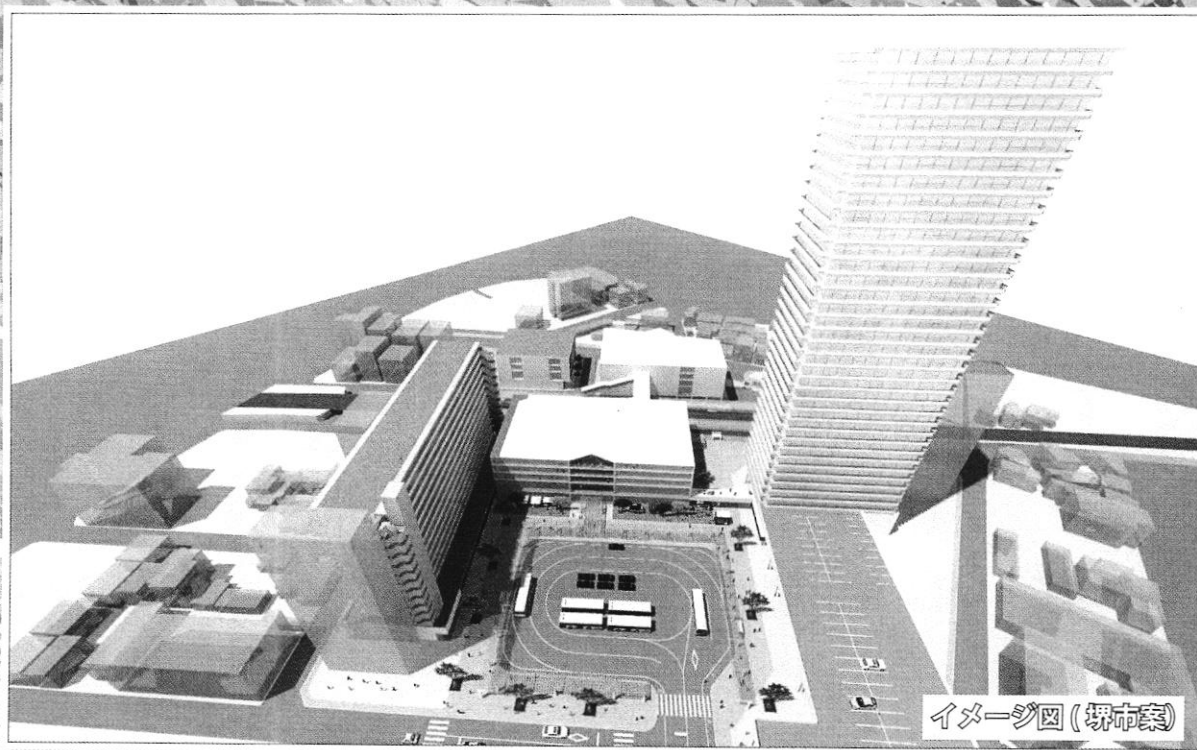


つくの夢紀

～ TSUKUNO YUMEKI ～ 創刊号



イメージ図（堺市案）

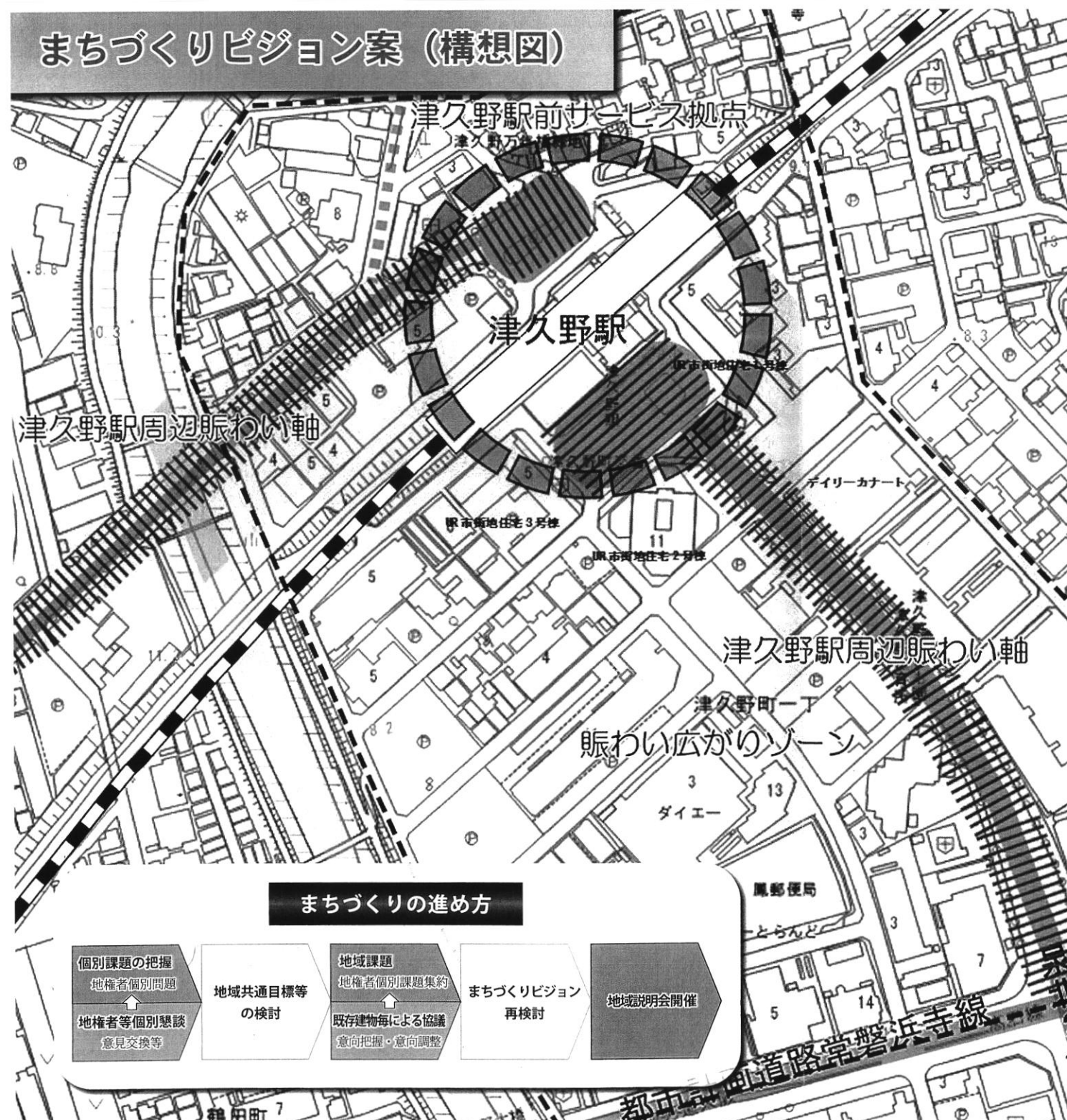
※このイメージ図は、地域の皆様が、これからの津久野駅前をどうしていきたいかを自ら考え、議論していただくために、堺市が作成したものです。このとおり再整備されるものではありません。

「つくの夢紀」は

「つくの夢紀」は、津久野駅前プロジェクト協議会での活動内容や今後のスケジュール等を地域の皆様にお知らせするため、津久野駅周辺の方々に配布しています。



まちづくりビジョン案（構想図）



まちづくりの目標

- ①津久野駅西側改札の設置
東側の改札に行かなくてもホームに行けるようにめざします。
- ②駅東西の安全で自由な通行
駅東西の不便な通行を安全で自由に行き来できるような通行の改善をめざします。
- ③駅前の魅力を向上
駅前の昔ながらの建物を建て替える等、駅前の魅力向上をめざします。

まちづくりの優先テーマ

みんなで考えるまちづくり

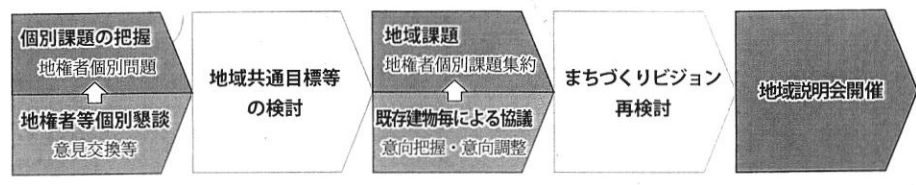
地権者の方々との「繋がり」の構築

当協議会のメンバーには、下田・西組・宮山・中組・大東・神野各地区自治会代表や津久野校区・家原寺校区自治連合会代表が参加されています。これまで当協議会では、このような地域の代表者の方々と「津久野駅周辺のまちづくり」について協議してまいりました。

一方、津久野駅前周辺地区内に土地や建物を所有する地権者の方々がいらっしゃいます。津久野駅周辺のまちづくりを進めるには、当事者である地権者等の方々との意見交換や協議等を重ねることは必要不可欠であり、最優先事項と考えています。

当協議会では、まずまちのあり方や現状の建物・ご商売等についてご意見・ご質問等を頂ける機会をもうけるよう検討しています。

まちづくりの進め方



津久野駅前プロジェクト協議会 アラカルト

○協議会の目的は？

本協議会は、子孫に引き継げるよう魅力ある持続可能な、立派な津久野を創っていくためのまちづくりを実現するために組織されました。

○どんなメンバー？

NPO法人好きやねん津久野の会、津久野駅前ショッピングセンター協同組合、津久野校区・家原寺校区の自治連合会代表といった人たちで構成されています。

○協議会は何をするの？

協議会は、堺市やUR都市機構と協働し、まちづくりを行います。例えば、地域課題について、議論や提案を行い、地域の課題解決をめざします。

○これまでの活動は？

これまで、地区の発展に携わる様々な関係者、また、協議会のメンバーでもある各地域の代表者やまちづくり活動を実践している人たちと「津久野駅周辺の課題・まちづくりの方向性・進め方」について、協議を重ねてまいりました。

JR 阪和線の「津久野駅」は、昭和 35 年に新設され、これを機に周辺のまちづくりが行われてきました。現在、約 60 年が経ち、病院やマンションなど周辺が様変わりするなか、駅前のみ昔のままとなっています。

私ども「津久野駅前プロジェクト協議会」は、駅東西を安全で自由に通行したい、という思いをきっかけに、駅前を良くしたいという思いをお持ちの方々と「子孫に引き継げる立派な津久野のまちづくりの実現」をめざして、平成30年8月に発足しました。

これからも、地域のみなさまと協働し、「安全で便利」、「夢のある」、「魅力のある」まちづくりを描いていきたいと考えておりますので、当会の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長 濱田 博

支援コンサルタント紹介

当協議会は、協議会のまちづくりを支援・サポートするコンサルタントとして、(株)MOC(エムオーシー)を選定しました。

今後、津久野駅前周辺地区内の地権者の方との懇談会の実施など地元対応の窓口としても動いていただきます。

【会社紹介】

会社名：株式会社MOC

所在地：堺市東区北野田 1077 番

担当者：宮崎・松林